



へきなんの図書館がすすめる 夏休みの本 (3・4年生向き)

2026

図書館 (本館・分館) におすすめの本のコーナーがあります。自由研究や工作の本もあります。ぜひ、図書館にきてね!



図書館の利用者カード
をもってるかな?

カードを作りたい人は、自分の住所が確認できるもの (医療費受給者証、水族館パスポート、マイナンバーカードなど) をもって図書館にきてね!
本10冊、AV資料 (紙芝居、おもちゃ、DVD、CD など) 5点、雑誌5冊までを15日間、借りることができます。
カードは無料で作れます。(カードを再発行する時は100円かかります)



『先生!おかわり禁止って へんじゃない?』

麻生 かつこ/作 金の星社 (913ア・セ)

春斗の通う小学校には、きまりがたくさんあります。たとえば「肩より長い髪は結ぶこと」、「フードつきの服は禁止」、「誕生日会禁止」、それに「忘れ物をしたら給食のおかわり禁止」などです。そこで、春斗はへんなきまりをなくそうと学級会で話しあうことにしますが…。



『じいちゃんの赤いスニーカー』

本田 有明/作 佼成出版社 (913ホ・ジ)

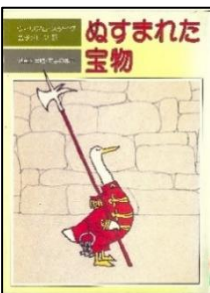
人前で話すときに言葉につまってしまった翔平は、ある日、道で転んでしまった目の見えないおじいさんに、自分から声をかけて助けます。おじいさんと友だちになり、一緒に時間をすごすうち、翔平は胸に抱えていた悩みが少しずつ軽くなっていくのを感じます。



『ぬすまれた宝物』

ウィリアム・スタイク/作 評論社 (933ス・ヌ)

クマのバジル王に信頼されていたガチョウのガーウェインは、国の宝がしまっている宝物殿の見張りをしていました。ある日、ガーウェインは宝が盗まれていくことに気づき、王様に伝えませんが、逆に、まわりから犯人ではないかとうたがわれ、裁判にかけられます。



『ひろしま絵日記』

中澤 晶子/作 小峰書店 (913ナ・ヒ)

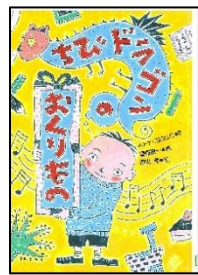
夏休みに、ひいおばあちゃんの家に泊まったみなみは、おしれの中から1冊の古いノートを見つけます。それは、ひいおばあちゃんの妹が書いたもので…。



『ちびドラゴンのおくりもの』

イリーナ・コルシュノフ/作 国土社 (943コ・チ)

友だちのいないハンノーの前に、とつぜん小さなドラゴンがあらわれ、「学校がいやでにげてきた。家にとめてほしい」と言うのです。ドラゴンと一緒に暮らすことになったハンノーですが…。



『パイパーさんのバス』

エリナー・クライマー/作 徳間書店 (933ク・パ)

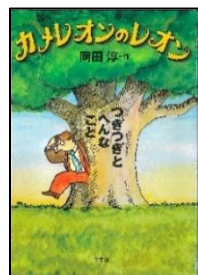
パイパーさんは、バスの仕事を終えてアパートに帰るとひとりぼっちです。そこで、迷子になっていた犬を飼うことにしたのですが、次は猫、次はヒヨコと、いっしょにくらす動物がふえ、とうとう大家さんにアパートを出ていこうと言われてしまい…。



『カメレオンのレオン つぎつぎとへんなこと』

岡田 淳/作 偕成社 (913オ・カ)

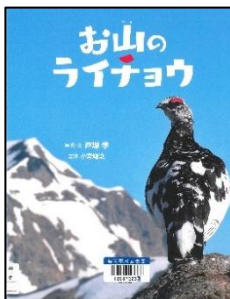
「学校にいるはずのないペンギンにあとをつけられる」、「校長先生のにせものが現れる」、「恐竜が廊下をはいる」など、次々とおきるふしぎな事件を追う、探偵・カメレオンのレオンは、犯人を見つけ事件を解決できるのでしょか?



『お山のライチョウ』

戸塚 学/写真・文 偕成社 (488オ)

ライチョウは、高い山にくらしている鳥で、日本では「神の鳥」として昔から大切にされてきました。しかし、今、あることが原因で絶滅してしまふかもしれないと言われています。絶滅の危機から救うため、どのような活動がされているのかを知り、そのうえで、私たちにできることは何か考えてみましょう。



『ラン・ガール・ラン!』

アネット・ベイ・ピメンテル/さく
ミーシャ・アーチャー/え 偕成社 (Eア・ラ)

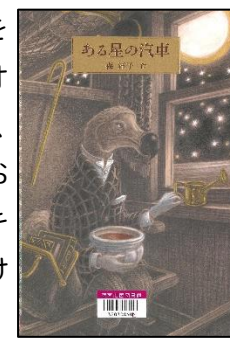
走るのが大好きな女の子・ボビーは、フルマラソンの大会に出たいと、大会を開催する団体に伝えますが、「女性は42.195kmも走れない」と断られてしまいます。そこで、ボビーは、女性でも走りきれることを証明しようと、大会当日、ある計画を実行することに…。



『ある星の汽車』

森 洋子/作 福音館書店 (Eモ・ア)

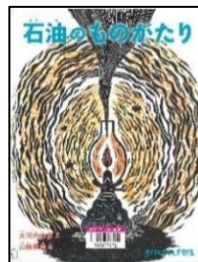
月の光に照らされて、広い大地を走る汽車の中には、鳥やカエル、オオカミなど多くの乗客がいます。しかし、駅に着くたび、ひとり、またひとりおりていきます。車内に残っていたホッキョクグマも「そろそろおりなくちやいけなかもしれない」とつぶやいて…。



『石油のものがたり』

大河内 直彦/文 福音館書店 (568セ)

石油は、車や飛行機の燃料になったり、ビニールやプラスチックを作る原料にもなります。また、石油を燃やすことで電気を生み出します。そんな生活に欠かせない石油の正体にせまります。



『ガラス』

セシル・ジュグラ、ジャック・ギシャル/文
NHK出版 (407ガ)

コップの下においたコインが消えた!? グラスをさかさにしても水がこぼれない!? ガラスにまつわる不思議を体験してみましょう。



『クジラがしんだら』

江口 絵理/文 かわさき しゅんいち/絵
童心社 (Eカ・ク)

深くて暗い海の底には、おなかをすかせた生きものたちがたくさんいます。ある日、そこへ命を終えたクジラが沈んできて…。



『ねぼすけはとどけい』

ルイス・スロボドキン/作 偕成社 (Eス・ネ)

たくさんのはとどけいをかざっている小さなとけいやさんがありました。時間になると、いっせいに箱の中からはとがとび出すのですが、いつも一羽だけおくらしてしまうのです。とけいやさんがなそうと、箱をあけると…。

